

科目ナンバリング		U-LAS30 20021 LJ13							
授業科目名 <英訳>	大学図書館の活用と情報探索 University Library Data Searching			担当者所属 職名・氏名	附属図書館 准教授 経営管理大学院 教授 人間・環境学研究科 教授 情報学研究科 教授 薬学研究科 教授	北村 由美 松井 啓之 須田 千里 黒橋 禎夫 金子 周司			
群	情報学科目群		分野(分類) (各論)		使用言語	日本語			
旧群	A群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義	
開講年度・ 開講期	2021・前期		曜時限	火4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
<b>[授業の概要・目的]</b>									
<p>大学図書館は、図書だけではなく、学術雑誌やオンライン・ジャーナル、文献管理ツールなど、様々な学術情報と、それらの活用方法を教授している場所である。京都大学図書館が提供している膨大な資料群や、ツールをどのように使いこなせるかで、大学における学習の質が変わってくる。本授業では、このような京都大学図書館の提供する様々な学術情報の活用方法をテーマごとに講義と演習を組み合わせ、段階的に学習する構成となっている。</p> <p>講義では、理系・文系双方にわたる専門分野の異なる教員陣によって、各分野における情報の組織化と活用方法の歴史や現在について学ぶ。その後、各講義を踏まえ、図書館職員のサポートのもと、図書館やデータベースなどの文献検索ツールの演習を行い、大学における学習に必須である文献調査と先行研究レビューの手法を身に着ける。</p> <p>第10回～14回の総合演習では、それまでに学習した文献調査と先行研究レビューの手法を駆使し、プレゼンとレポート作成を行う。</p>									
<b>[到達目標]</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化社会の中で、適切に情報を評価するための能力を身につける。</li> <li>・効果的な文献探索手法を身につける。</li> <li>・データベース検索や図書館での文献探索を通じて得られた学術情報を整理して、大学の授業で要求されるレポートの作成や発表を行うスキルを身につける。</li> </ul>									
<b>[授業計画と内容]</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献探索手法を身につけた上で、これまでのどのような研究がされてきたか、どのようなことが分かっているかを把握する文献調査を行い、「新たな着想」をするための準備をする。</li> <li>・インターネット上にある情報の評価方法を学ぶのみならず、学術情報を管理している図書館や、文献データベース提供企業が、どのような論理で情報を組織化しているのかを理解する。</li> <li>・身につけたスキルを駆使して、文献を活用し発表とレポート作成を行う。</li> </ul> <p>具体的な授業内容：</p> <p>第1回：「大学図書館の魅力と研究活動」（講義）＜担当：松井啓之＞ 高校までの図書館や地元の公共図書館とは全く違う、大学図書館の魅力と研究活動の展開や動向を学ぶ。</p> <p>第2回～第4回：「資料調査の入り口」（講義・演習）＜担当：須田千里＞ 膨大な資料から、自分が必要な情報を探す際の基本的な考え方とスキルを学ぶ。具体的には、情報</p>									
----- 大学図書館の活用と情報探索(2)へ続く									

## 大学図書館の活用と情報探索(2)

探索に先立つ概念の整理の仕方や、図書館蔵書検索の基本、参考図書を用いた文献検索の方法などを身につけ、今後学習を進める上での基礎をおさえる。

演習内容：

- ・ KULINE検索
- ・ 参考図書演習

第5回～第7回：「情報の分類と検索：理論と実際」（講義・演習）＜担当：黒橋禎夫＞

分類と検索の仕組みを理解することは、学問だけではなく、情報化社会の中でトラブルに巻き込まれず、正しい情報の入手と発信を行う上で不可欠である。本講義・演習では前半で、分類の基本的な考え方と歴史、類似性に基づく組織化を学び、図書館演習で実際に体験する。後半ではウェブの検索エンジンや情報推薦の仕組みについて学んだ上で、批判的思考の基づいたファクトチェックの演習を行う。

演習内容：

- ・ 分類を活用した資料探索
- ・ 多様な分類
- ・ ウェブ情報のファクトチェック

第8回～第9回：「インターネット検索の落とし穴とデータベースの活用方法」（講義・演習）

＜担当：金子周司＞

データベースの活用法やインターネット情報の落とし穴を理解し、実際に活用できる学術情報をオンラインで収集する方法を学ぶ。

演習内容：

- ・ 様々なデータベースを活用した資料検索

第10回～14回：「総合演習」＜担当：北村由美＞

これまで学習した知識とスキルを活用して、発表とレポート作成を行う。

演習内容：

- ・ 文献管理ツール

第15回：フィードバック

### 【履修要件】

ECS-IDを取得していること。

### 【成績評価の方法・観点】

成績評価：

演習課題：70%

発表：15%

レポート：15%

### 【教科書】

使用しない

## 大学図書館の活用と情報探索(3)

### [参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

(関連URL)

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/support/12303>(授業用ウェブサイト)

### [授業外学修(予習・復習)等]

- ・各演習で出された課題を通して予習・復習を行う。
- ・一部の授業は、反転授業になっており、事前にオンラインで授業内容を学習した上で、授業に臨む形式になっている。
- ・総合演習に向けて発表準備を行う。
- ・必要に応じてグループで課題に取り組む。

### [その他(オフィスアワー等)]

・これから大学で様々な事項を学ぶにあたり、図書館およびオンラインデータベースを含む図書館資料(情報)の活きた利用法、調べ方の実際を知り、スキルアップに役立ててください。

・履修にあたっては、パソコンの基本的操作ができること(日本語入力ができる・文書作成ソフト/テキストエディタが使用できる・レポートをメールの添付ファイルで送信できるなど)が望ましいです。

・オフィスアワーは設定していませんので、必要に応じてメールにてアポイントメントをとって下さい。